

# すてっぴ



6月23日～29日は男女共同参画週間です。今年のキャッチフレーズは、「だれもがどれも選べる社会に」。「男女共同参画ってなに?」「ジェンダーって何?」  
もしも、あなたが疑問に感じたり、悩んでいたら…ちょっと読んでみませんか?



## ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた

佐藤文香監修 明石書店 2019

ジェンダー研究のゼミに所属しているゼミ生が、友人に実際に投げかけられた29の質問に対して、大学生の視点を通して答えています。「男だって大変なのに女がすぐハラスメントって騒ぐのって逆差別では?」「男女平等っていうけれど、女性も「女らしさ」を利用しているよね?」「フェミニズムって危険な思想なんですよ?」等。



## これからの男の子たちへ

男らしさから自由になるレッスン  
太田啓子著 大月書店 2020

著者は男の子2人を育てるシングルマザーの弁護士。日常生活の中で、日々「男の子だから」というジェンダー・バイアスのうっすらとした膜を感じるという。「男らしさ」の呪いから自由になることを願って。

ジェンダー・バイアスとは、男女の役割に固定的な観念を持ち、そのことに基づく差別や偏見などのことを言います。

## 10代から知っておきたい

### 女性を閉じ込める「ずるい言葉」

森山至貴著 WAVE出版 2023

その言葉も、あの言葉も、女性同士でも口にしたことがある人がたくさんいるのでは? 知らず知らずに「女性はこうあるべき」が刷り込まれていることに気づかされる一冊。10代だけでなく様々な年代の人に。



## 男がつらいよ

### 絶望の時代の希望の男性学

田中俊之著 KADOKAWA 2015

卒業⇒就職⇒結婚⇒定年 かつてはこの一本道が男性の人生の「普通」だという。今、「普通」に人生を送れる男性がどれだけいるのでしょうか。男性の感じる生きづらさとは?

女性ならではの視点だね!  
子どもがないからできることだね  
女を捨ててるね  
女性の割には話が通じるね  
血洗いやっというあげたよ  
女にはわからない世界だから  
等



モヤモヤしている10代の女の子のために!  
あなたにピッタリの本が見つかるかも。

モヤモヤしている女の子のための読書案内  
堀越英美著 河出書房新社 2020

## 新着図書紹介



### 男女平等への長い列

赤松良子 著  
日本経済新聞出版 2022

昭和 60 年、男女雇用機会均等法が成立。この法律の成立に尽力した著者は、喜びとともに残念な悔しい思いもしたと言う。この法律が自分の理想として描いてきたものとはかけ離れていたから。不完全な法律とわかっていても将来を見据えて成立させたかったのだ。「均等法の母」と呼ばれた著者の足跡は戦後の女性の地位向上の歴史と重なる。「日本の職場で男女平等を目指していく道のりは長かった」というが、「男女平等の実現のための、長い列に加わる」という言葉に常に励まされたという。今年 2 月に急逝。

### 子どもを育てられない親たち

草薙厚子 著  
イースト・プレス 2024



虐待の報道があるたびに、そのむごさに目をそむけたくなる。子どもへの虐待は、「非常識な親がやることで、恵まれない家庭環境や特殊な家庭の中だけ」ではない。「優良家族」もいるという。体罰や暴言は子どもの脳に深刻な悪影響を及ぼすことがわかってきた。子どもを取り巻く虐待の現状をさぐる。

### 困難を抱える女性を支えるQ&A

戒能民江、堀千鶴子編著  
解放出版社 2024



2024 年 4 月、婦人保護事業から売春防止法を切り離した「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行。この女性支援法では、「女性が女性であることにより」私生活であれ社会生活であれ、困難に直面したら支援を受けられること、人権が尊重されること等が明記されている。支援法の対象は年代や国籍、文化的背景を問わず、「困難に直面するすべての女性」。

### 妊娠を知られたくない女性たち

佐藤拓代 [ほか] 著  
日本看護協会出版会 2023



2003~2022 年に虐待で死亡した生後 0 日の赤ちゃんは 176 人にのぼり、女性 165 人が加害者とされた。父親の実態は半数以上が不明だという(毎日新聞 3/8)。女性に負担が偏っている。一般的にはおめでたいことである妊娠を「誰にも知られたくない」という女性たち。その思いは、時に子の命の重みをも上回ってしまう。その背景には妊婦の孤立があると指摘されている。今後の様々な課題を考察。

### なぜ東大は男だらけなのか

矢口祐人 著  
集英社 2024



学部学生の男女比が約 8 対 2、教員においては約 9 対 1、女性学生を排除するサークルが今だ存在する東大。卒業生が社会のリーダーとなる大学における女性の少なさは、社会での女性の活躍を少なくする。東大のジェンダー問題は日本全体の問題なのであると副学長である著者は言う。そこで、国際比較と歴史的観点からジェンダー問題を捉え、現状と未来について考えていく。2022 年「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」が出された東大は、そして日本はどう変わっていけるのか？

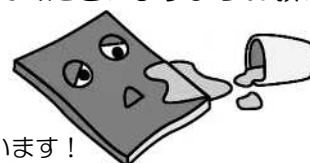
書名	著者名	発行
女性と図書館	青木玲子、赤瀬美穂	日外アソシエーツ
超人ナイチンゲール	栗原康	医学書院
〈寝た子〉なんているの？	上川多実	里山社
老後の家がありません	元沢賀南子	中央公論新社
ケアの倫理	岡野八代	岩波書店
ジェンダー史10講	姫岡とし子	岩波書店
タフラブ 絆を手放す生き方	信田さよ子	d Z E R O
真実と修復	ジュディス・L・ハーマン	みすず書房
男の子のからだえほん/女の子のからだえほん	マティルド・ボディ、ティ フェーヌ・ディユムガール	パイインターナショナル
カミングアウト・レターズ	R Y O J I、砂川秀樹	太郎次郎社エディタス
Q&A 多様な性・トランスジェンダー・包括的性教育	浅井春夫[ほか]	大月書店
トランスジェンダーと性別変更	高井ゆと里	岩波書店
死なないノウハウ	雨宮処凜	光文社
よっちぼっち	齋藤陽道	暮しの手帖社
男の子をダメな大人にしないために、親のぼくができること	アーロン・グーヴェイア	平凡社
50歳からのひとりごはん	本多理恵子	集英社
インティマシー・コーディネーター	西山ももこ	論創社
隆明だもの	ハルノ 宵子	晶文社
八ヶ岳南麓から	上野千鶴子	山と溪谷社
61歳で大学教授やめて、北海道で「へき地のお医者さん」はじめました	香山リカ	集英社クリエイティブ
化学の授業をはじめます。	ボニー・ガルマス	文藝春秋
s p r i n g スプリング	恩田陸	筑摩書房
方舟を燃やす	角田光代	新潮社
うらはぐさ風土記	中島京子	集英社
二人キリ	村山由佳	集英社
あいにくあんたのためじゃない	柚木麻子	新潮社
キツネくんのひみつ	カロリーヌ・リンク	誠信書房
先生、ぼくは宇宙人じゃないよ？	古内しんご	三恵社



こちらから、蔵書目録や  
新着図書一覧をご覧いただけ  
ます。  
どうぞご利用ください。

図書室からのお願い

本の返却期限をお守りください。  
また、汚損された本が多くなってきました。  
本を大切に扱ってくださいますようお願いいた  
します。



泣いています！

## 4月施行の 気になる法律



### 民法改正—無戸籍者問題解消のため

無戸籍者問題の一因として指摘されていた嫡出推定制度が改正されました。

#### ポイント1

婚姻の成立した日から200日以内に生まれた子は夫の子と推定。婚姻の解消等の日から300日以内に生まれた子であっても、母が前夫以外の男性と再婚した後、再婚後の夫の子と推定する

#### ポイント2

100日間の女性の再婚禁止期間を廃止

#### ポイント3

これまでは夫のみに認められていた嫡出否認権(父子関係を否定する権利)を子及び母にも認めた。さらに嫡出否認の訴えの出訴期間を1年から3年に延長

嫡出推定制度とは婚姻の成立した日から200日を経過した後に生まれた子、又は離婚等により婚姻を解消した日から300日以内に生まれた子を夫の子と推定することとしていた制度

※改正法は、令和6年4月1日以後に生まれた子に適用されますが、令和6年4月1日から1年間に限り、それ以前の方も嫡出否認の訴えを起すことが可能です。



### 先駆者たちの 足跡

三淵嘉子と家庭裁判所 清水聡編著 日本評論社 2023

朝ドラのモデルとなった三淵嘉子は、家庭裁判所を「愛の裁判所」といったという。

女性法曹のあけぼの 佐賀千恵美著 金壽堂出版 2013

三淵嘉子、中田正子、久米愛。法律自体が男性優位であった時代に、はじめて弁護士となった3人の女性たちの記録。

### 図書室からのお知らせ

「ほんのひとこと」カードに、お借りになった本の感想をお願いしています(無記名)。感動を誰かに伝えたくなったこと、ありませんか。春と秋に、皆様から頂いたカードを図書室内に展示します。よろしければ、ほん(本)のひとこと、お待ちしております。

### 図書室利用案内

はじめて本を借りる方は、名前や住所を確認できるもの(保険証等)をお持ちの上、利用登録のお手続きをお願いいたします。

貸出冊数	6冊
貸出期間	4週間
利用時間	午前9時～午後9時30分まで
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)、施設メンテナンスの日

### 練馬区立男女共同参画センターえーる 図書・資料室

〒177-0041 練馬区石神井町8-1-10

☎ 03 (3996) 9099 (直通)

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keihatsu/jinkendanjo/sankakucenter/index.html>

